

令和元年 11 月 25 日

雑がみ回収袋の配布（R1.10 実施）について

1. 配布の目的と内容について

岩倉市のごみ量は、リサイクル推進等により平成 13 年度をピークに減少し続けているが、近年は減り幅がやや小さい状況にある。特に、雑がみについては、燃やすごみへの混入がされやすく、広報紙で特集を組んだり、環境委員会で地区でのチラシの回覧を依頼するなどしてきたが、更なる資源化に向けて雑がみ回収袋を広報 10 月号に合わせて全戸配布した。

雑がみ回収袋については、紙袋に雑がみの資源化についてプリントを施し、直接的・視覚的に市民に PR し、雑がみが資源であることについて改めて市民に印象付けることによって、燃やすごみ袋への雑がみ混入の抑制を図ることとした。

2. 配布の効果について

(1) 「雑誌・雑がみ」に占める雑がみの割合の変化

【配布前】 54.0% → 【配布後】 54.6% (+0.6%)

(調査期間：8/22～9/6) (調査期間：10/1～10/17) 使用袋数 75 袋

※e-ライフプラザに排出された「雑誌・雑がみ」を調査したもの

(2) ごみ内容物調査における古紙類の割合の変化

平成 30 年度までの過去 7 年間平均の可燃ごみ袋に占める古紙類の混入割合
→重量ベースで 13.5%、体積ベースで 24.7%

令和元年度の可燃ごみ袋に占める古紙類の混入割合
→重量ベースで 9.2%、体積ベースで 17.0%